



親と子・夫婦・兄弟・隣人、そして初恋……と
美しくも尊い心のふれあいを語る感動の人生詩！

夕日に沈むアリゾナの高原に……
雨に濡れたシカゴの町に……
寄せては返すサンタ・モニカの渚に……



＊1975年アカデミー賞主演男優賞に輝く
アート・カーニー主演



"HARRY & TONTO"
＜カラー作品＞

ハリーとトント

エレン・バースティン(シャーリー) ● ジェラルディン・フィツジェラルド ● ラリー・ハグマン ● チーフ・ダン・ジョージ

● 製作・監督 ボール・マザースキー ● 脚本 ボール・マザースキー / ジョシュ・グリーンフェルド ● 音楽 ヒル・コンティ (主題曲 ● カサブランカ・レコード) ● FOX 映画

■ 75年ゴールデングローブ主演男優賞 ■ 75年アトランタ映画祭受賞 (作品・監督・主演男優・助演女優・助演男優) ■ 日本映画ペンクラブ特賞 ■ 優秀映画鑑賞会推薦

★スタッフ

製作監督 }ポール・マザースキー
 脚本 }ポール・マザースキー
ジョッシュ・グリーンフェルド
 撮影 }マイケル・パトラー
 音楽 }ビル・コンティ
 主題曲 }《サントラ盤/カサブランカレコード》

★キャスト

ハリー.....アート・カーニー
 シャーリー.....エレン・バースティン
 老インディアン.....チーフ・ダン・ジョージ
 ジェシー.....ジェラルディン・フィッツジェラルド
 エディ.....ラリー・ハグマン
 ウェード.....アーサー・ハニカット
 ノーマン.....ジョシユア・モステル
 《上映時間-1時間57分》



●小森和子さんも絶賛！マスコミに沸く激賞！

ことしのアカデミー受賞式に出席され、いちはやくこの映画をアメリカでごらんになった小森和子さんがその感激を「スクリーン」七月号に書いておられる。
 「トントが猫ときいただけで動物キチの私はゴキゲンだった。老齢にいきさかも感傷的になることなく、来るものは何でも来られて人生の冒険にも尻ごみせず、日々好日と毎日できるだけ楽しく生きようとするハリリーの人生へのあくなき夢が、かなしいまでも美しく、さわやかに謳いあげられる。見たあとの彼は、どのオスカー候補映画の時よりも心さわやかな感動を受けた。と同時に、私もハリーみたいなおぼさまになりたいと願ったし、日本のヤングにもオールドにもぜひ観賞されることを心から願わずにいられなかった」(スクリーン・七月号より)

★五つ星(最高点)。今年の最高傑作！(レナード・ハリスII WCB S・TV)

★ハリーとトントは、まれに見る美しく暖かさでウィットと英知でスクリーンを明るくする。(アーロン・シンダII F.A.M.I.R.I. サークル誌)

★喜びと憐れみ、苦悩と理解に光り輝く、独創的で楽しく、驚くべき傑作！(ウイリアム・ウルフII キュー誌)

●アカデミー主演男優賞ほか、
 数々の受賞に輝く本年度最高の感動！

当年五七才のアート・カーニーは、舞台とテレビで高名な名優として知られていたが、映画はこれが初の主演作——しかもアル・パシーノ、ダスティン・ホフマン、ジャック・ニコルソンという強力なオスカー候補をシリぞけて、ついにことしのアカデミー主演男優賞を獲得し世界をアツといわせた。いかにこれが名演であるかは、実際に映画を見ていただくしかない。

なお、この映画はアトランタ映画祭で作品賞、監督賞、主演男優賞(カーニー)、助演女優賞(エレン・バースティン)と彼女は「アリスの恋」でアカデミー主演女優賞を獲得)、助演男優賞(ラリー・ハグマン)を受賞している。カーニーは、さらにゴールデン・グローブ主演男優賞とこのほど新設された第一回ユーモア・アカデミー賞(喜劇やほほえましい人情ドラマを受賞対照にした賞)の主演男優賞と、おもな演技賞を総なめにした。

また、「ニューヨーク・タイムズ紙」の本年度選出ベストテンにこの映画は選ばれた。
 ●これはあなたにも切実な問題だ！

核家族化時代、老いた親たちをあなたならどうする？
 七才のハリー(カーニー)は、妻に先だたれ、愛猫トントとニューヨークのマンハッタンに住んでいる。区

画整理のため立ちのきを強制され家を失ったハリーは、長男バート(フィル・ブランド)の裕福な家に住みこむが、バートの嫁エレンに気がねして息子の好意とうらはらに、ハリーは落ちつかない。

ハリーはシカゴにいる娘シャーリー(バースティン)を頼ってトントをつれてバスに乗るが、トントに途中でオシッコをさせるため降りたとき、トントが逃げだし猫をさがすためバスと別れた。

トントをさがし出し、中古車を買ってシカゴへ向うハリーは、途中でヒッピーの若いヒッチハイカーの娘ジンジャーをのせシャーリーのところへ行く。シャーリーは四度の結婚に破れた女で、本屋を一人で経営している孤獨な女だった。父と一緒に暮そうというが、ハリーは娘の足手まといになるのをきらってまたさすらいの旅にでる。シャーリーの次男ノーマン(名優ゼロ・モステルの息子ジョシユア・モステル)は、ジンジャーにひかれ、コミューンへ行く。

核家族化時代の現代人の孤独。最後の生き方。そして老いた親の問題を若い人にも考えてもらおうというテーマをもったこの映画は、男女を問わずアメリカの老世代はもちろん、ヤング層にも大反響を起こした。このテーマは、すべての人に関係のある切実な問題だったのだ。

●限らない人間讃歌！涙と笑いのヒューマニズムに
 長蛇の観客が劇場をとりまいた！

老人問題といえ、とかく暗く陰惨になりがちだが、それを限りなく明るさとヒューマニズムで描いたこの映画は、アメリカで大ヒットになっている。小森さんも「劇場はエンエン長蛇なのはオドロキだった」と書いておられるが、さわやかな笑いと涙で綴るファミリーの問題が、切実に現代人の渴ききって蒸発した心をうるおしたことが大ヒットの理由だったようだ。

ロサンゼルスで経済的に苦しんでいる次男エディ(ハグマン)とハリーが交わす涙の再会。そして愛猫トントの悲しい死。猫気ちがいの婆さんに求婚されるハリーのほほえましいエピソード。ハリーがかつての恋人と再会するが、彼女は狂人となっているという涙の場面など、心にしみる名場面は人生の機微をつき、ここに本年度最高の名作が誕生した

受賞に輝くFOXの名作シリーズノジャン・コクト
 才賞に輝くフランス映画最高の愛の秀作！
 イフ・モンタンほか

9大スター共演
 友情 近日大公開